

図脳RAPIDPRO21/図脳RAPID21から図脳RAPIDPRO22/図脳RAPID22への改善機能です

P=図脳RAPIDPRO22のみに搭載された機能です

新搭載

新搭載

新搭載

新搭載

ファイル			
	出力：J W _ C A D形式（図形選択）	図面内で選択した部分の図形のみを出力できるようになりました。	P
	出力：A u t o C A D形式（図形選択）	図面内で選択した部分の図形のみを出力できるようになりました。	P
	入力：J W _ C A D形式	補助線に「補助線色」以外の色が設定されていた場合に、その色を図形色として扱うようになりました。	
		補助レイヤも表示状態及び編集ロックを取り込むようになりました。	
編集			
	選択コマンド	ハッチング及び塗り図形の外形線を編集できるようになりました。	P
図形編集	図形移動	逆カットインに対応しました。	P
	図形複写	逆カットインに対応しました。	P
	図形回転	逆カットインに対応しました。	P
	図形回転複写	逆カットインに対応しました。	P
	異縮尺移動複写	逆カットインに対応しました。	P
	部分拡大図	拡大図が簡単に作図できるようになりました。	P
	オフセット	（選択図形の追加除外が可能な）新しいループ指定に対応しました。	P
	投影編集-斜投影複写	平面で描かれた三面図を立体的に表現するキャビネット図及びカバリエ図が作図できるようになりました。	
作図			
	ハッチング	（選択図形の追加除外が可能な）新しいループ指定に対応しました。	P
	ペイント	（選択図形の追加除外が可能な）新しいループ指定に対応しました。	P
	塗り図形	（選択図形の追加除外が可能な）新しいループ指定に対応しました。	P
	土木ハッチング図形指定	（選択図形の追加除外が可能な）新しいループ指定に対応しました。	P
部品	部品配置	逆カットインに対応しました。	P
		部品配置時に原点を予備原点に変更可能になりました。	
	文字付き部品配置	逆カットインに対応しました。 ※建築設備キットのコマンドです。	P
	部品登録	予備原点の追加が行えるようになりました。 ※パーソナル版では建築設備キットまたはメカニカルキットが必要です。	P
可変部品	可変部品配置	逆カットインに対応しました。	P
ユーザシンボル	ユーザシンボル配置	逆カットインに対応しました。	P
		部品配置時に原点を予備原点に変更可能になりました。	
	文字付きユーザシンボル配置	逆カットインに対応しました。 ※建築設備キットのコマンドです。	P
	ユーザシンボル登録	予備原点の追加が行えるようになりました。 ※パーソナル版では建築設備キットまたはメカニカルキットが必要です。	P
表機能	表作成	選択範囲でのCSV保存が行えるようになりました。	P
	表修正	作成した表のCSV保存が行えるようになりました。	P
		選択範囲でのCSV保存が行えるようになりました。	P

設定			
作図設定		レイヤグループのコピーが行えるようになりました。	P
編集設定		逆カットインの設定を追加しました。	P
		部品系の登録でも詳細設定を行えるようになりました。 ※建築設備キットまたはメカニカルキットが必要です。	
環境設定	ファイル-入力	図面ファイル読み込み時に、図面情報の参照日を更新するかどうかを選べるようになりました。 ネットワークドライブのみ更新しないようにすることも出来ます	
	ファイル-保存-バックアップ	バックアップファイルの履歴数を指定できるようになりました。	
	操作-拡張操作	(選択図形の追加除外が可能な) 新しいループ指定を行うかどうかの設定を追加しました。	P
ウィンドウ			
新搭載	フローティングウィンドウ化	図面ウィンドウをフローティングにできるようになりました。	
新搭載	フローティングウィンドウを戻す	フローティングにした図面ウィンドウ戻せるようになりました。	
ヘルプ			
新搭載	ライセンス認証/解除	ライセンス認証が新しくなりました。 図脳RAPIDPRO/RAPIDをアンインストールせずに認証解除可能になりました	
その他			
	数値文字列自動インクリメント	ツールバーに配置できるようになりました。	P
新搭載	図面タブドラッグ	図面タブのドラッグでフローティング化できるようになりました。	
新搭載	新ループ指定	(選択図形の追加除外が可能な) 新しいループ指定の切り替えを、 ツールバーに配置できるようになりました。	P
	図形再選択	Shiftキー+Enterキーで実行できるようになりました。	
	直前範囲選択	Ctrlキー+Enterキーで実行できるようになりました。	